平成２５年度 学校経営の基本方針

川西市立多田小学校

１　基本姿勢

（１）これからの時代を生き抜く上で必要な「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などの生きる力を確かに身に付けた子どもを育てる。
（２）本校の子どもの実態を把握し、課題を解決していくために、力のある学校づくりを推進する。
（３）保護者や地域との連携を深め、共に歩む学校づくりを推進する。
（４）「教育は人なり」教職員が同僚性を発揮しながら、確かな指導力と温かな眼差しをもって組織的に子どもの教育にあたる。

２　学校教育目標

『自立』よく考える子　『共生』なかよくする子　『活力』がんばりぬく子

『自立』とは
・自ら進んで学ぶ子ども（基礎基本の徹底、学習意欲の向上、自己学習力）
・課題に直面したとき、自ら考え解決できる子ども（課題解決力）
・自分の良さを見出し、自信を持って行動できる子ども（自己肯定感、自己実現）
『共生』とは
・他者に進んで関わり、共に生きる喜びを感じられる子ども（コミュニケーション力、他者理解）
・思いやりのある子ども（やさしさ、思いやり）
・みんなのためにはたらくことができる子ども（勤労・奉仕的精神）
『活力』とは
・進んで運動し、丈夫な体づくりに励む子（体力、健康）
・最後まであきらめずに粘り強く取り組むことのできる子ども（気力）

３　めざす子ども像

（１）考える力、あたたかい心、つよい心と体を持った子ども
具体的な子どもの姿として、自ら進んで学ぶ子ども、思いやりのある子ども、最後まであきらめずにがんばりぬく子ども
（２）社会生活を営む上で基本的な考え方をしっかり身に付けた子ども
具体的な子どもの姿として、あいさつや返事、掃除、場に応じた言葉遣いができる子ども
基本的な生活習慣や規範意識をしっかり身につけた子ども

４　めざす学校像

（１）子どもにとって学びがいのある学校
一人ひとりの子どもが落ち着いた環境のもとで、知・徳・体の力を確かに身につけることのできる学校
（２）教職員にとって働きがいのある学校
一人ひとりの教職員が使命感に燃え、「チーム多田」で子どもの姿に根差した授業や行事を創りだしていける学校

（３）保護者や地域の人にとって協力しがいのある学校
保護者や地域の人が、子どもや教職員の姿を通して愛着と期待をもつことのできる学校

５　めざす教職員像

（１）現状に満足することなく、常に新たなことに挑戦する教職員
（２）他と協働して、自己を伸ばそうとする教職員
（３）全教職員の共通理解をふまえた協働実践と率先垂範で指導にあたる教職員

６　学校経営目標

「認める」「ほめる」「励ます」の基本姿勢をもって『学習意欲の向上と基礎・基本の徹底』『豊かな心の育成と健やかな体づくり』『社会性の育成』をめざす

（１）学習意欲の向上と基礎・基本の徹底
・授業を改善することで、学習意欲の向上と学力の確実な定着をめざす
・学習環境、学習の場、個に応じた学習指導を工夫することで、基礎・基本徹底を図る
（２）豊かな心の育成と健やかな体づくり
・どの子も認められる学級活動や児童会活動の中で、自分の考えが表現できる子ども、他の意見を聴くことのできる集団を育てる
・自分を大切に、他人を大切に、ものを大切にする心を育てる
（３）社会性の育成
・教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間に学んだことが毎日の生活の場で実践できる子どもを育てる
・全教職員の共通理解をふまえた協働実践と率先垂範
・高学年のリーダーシップで自治の力を高める

多田小学校の子どもの実態をふまえた課題解決のために
力のある学校づくり（チーム多田）
環境
☆荒れさせない・・・学習の構え、授業規律、生活習慣
最大の教育環境は教師自身
集団
☆エンパワーする集団づくり・・・自治力を高める
委員会活動、児童会活動
☆チームワークを大切にする学校運営・・・学校組織
学年、校務分掌
（縦横の繋がり）
☆実践志向に積極的な学校文化・・・率先垂範で指導にあたる
課題の共通理解と協働実践
☆地域と連携・信頼される学校づくり・・・情報の発信
学校への理解と協力

学力

☆基礎・基本の確実な定着と学力向上に向けて取り組む学校づくり　・・・授業研究
支援の必要な児童、学力不振な児童等個に応じた指導と指導法の研究

7　目標を達成するための方策（取組の重点）

（１）学習意欲の向上と基礎・基本の徹底のために

学習規律、学習習慣の定着

・授業規律（学習の躾）の確立を図る
・秩序性（規律正しく、整然とした状態での取り組み）を大切にした指導
・学習習慣の確立を図る
・高学年の一部教科担任制と少人数指導により、子ども一人ひとりの特性に応じた学びを保障していく

・各教科・領域の指導力を高めるとともに、一人ひとりの子どもの努力と進歩の様子を確かに見取る目を養うよう、日々研修に努める
・学力不振児童への指導（学習の場・時間・人の工夫）
・６年間一貫して、学習の構えや授業規律、生活習慣の指導をしていく
荒れさせない⇔自信を持たせる
（靴箱や傘立て、挨拶や掃除、休み時間の過ごし方など全教職員で指導）見逃さず、その場で指導
・効果的な朝のモジュール学習のあり方について取り組んでいく
・主体的な学びを導く指導を工夫していく

（２）豊かな心の育成と健やかな体づくりのために

集団づくり

・互いに認め合い、学び合える学級集団づくり。（共に汗し、温かい学級づくり）
・子どもの心と行動の理解に努め差別やいじめのない学校、学級づくりを推進。

・学級経営、学級集団づくりについて研修を深める
・ことばを大切にし、子ども同士の結びつきを強める取り組み
・基本的な生活習慣と行動様式を身につけさせ、時と場に応じた適切な言動がとれるようにする

家庭・地域との連携

・保護者への連絡や相談、個別の対応などきめ細やかな指導を徹底していく

・安全性（健康で安全な状態）を保つ取り組みを推進する
安全点検（小破直繕）リスクをなくす取り組み
・学びの場にふさわしい環境、情操を培う校内環境づくり
清掃活動、放送など
・安全指導（校内、校外での生活、登下校）

（３）社会性の育成

基本的な生活習慣

・家庭や地域と連携した取り組みで、基本的な生活習慣の確立を図る
・あいさつ指導、清掃指導
・全職員が課題を共有し、率先垂範で日常の指導にあたる

・日常的なあいさつ、返事、場に応じたことば遣いの奨励
・自治の力を育てる
高学年のリーダーシップ、委員会活動や児童会活動への取り組み
・主体的、自発的な活動の推進とリーダー指導でエンパワーする集団づくり

規範意識

・規範意識の醸成を図る
・自律（良いことを実践し悪いことを自制する力）を大切にする

・自治の力、主体的、自発的に取り組む活動
・善行の奨励
・全校集会の効果的な活用

児童への呼びかけ　　４つの『あ』

１、あいさつ
あかるく、いつも、ひとよりさきに、つづける

２、あとかたづけ
途中で投げ出さず、さいごまでやること

３、あつまり
集団で生活、みんなが気持よく生活できること

４、あたたかい言葉
人を大切にする気持ち、あたたかい言葉をつかうこと